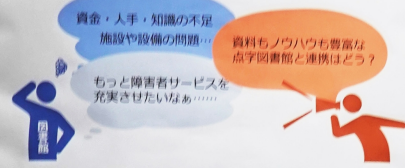


公共図書館と点字図書館の連携

—東京都と大阪府の調査—

坪井飛呂香(筑波大学 4年)・新藤透(東北福祉大学)・野口武悟(専修大学)

■背景



公共図書館単館では障害者サービスまで手が回らない!
=> ノウハウが豊富な点字図書館との連携は?

■手法：質問紙調査

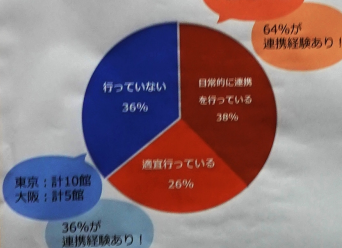
目的：公共図書館と点字図書館との連携に関する実態調査
 依頼方法：郵送・メール
 期間：2012年6月20日～7月22日
 対象：東京都・大阪府の公共図書館の中央館および都府立図書館の中央館
 送付数：105館(東京都61館、大阪府44館)
 回収数：42館(東京都21館、大阪府21館)
 返送率：40%
 設問：17問

点字図書館のはじまりの地！
 東京：日本点字図書館(1940)
 大阪：日本ライトハウス(1935)

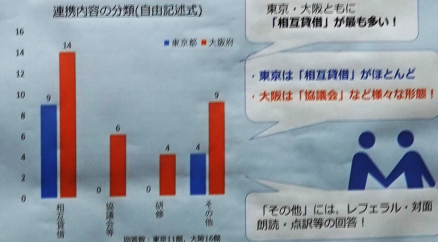
■調査目的

公共図書館と点字図書館がどのくらい連携をしているのか？
東京・大阪を調査！

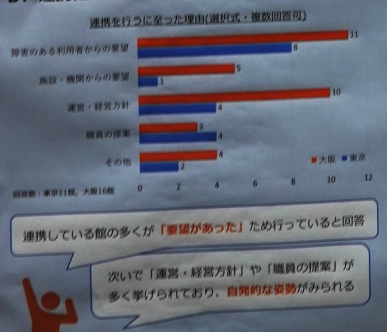
■結果



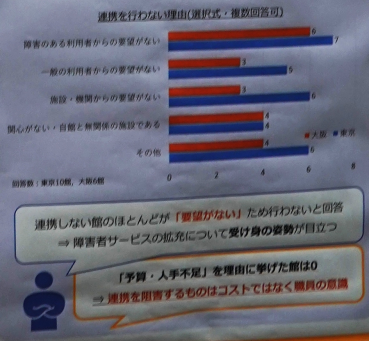
A. 連携内容について



B. 連携につながった要因について



C. 連携を阻害する要因について



■まとめ

両館の連携のためには……
図書館職員の意識、サービス向上のための自発性が必要不可欠！！

■参考

日本図書館協会障害者サービス委員会、すべての人に図書館サービスを、障害者サービス入門、日本図書館協会、1994
 東京都立図書館協会、2010年度（平成22年度）公開調査における協力館別・相互貸借と他機関との連携に関する調査、2011
 一般社団法人図書館、公共図書館における障害者サービスの調査、東北福祉大学図書館